※令和３年度以前入学生用

学校番号	３００７

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 地学基礎　第一学習社						
副教材等	ネオパルノート地学基礎　第一学習社						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業においては、基本事項の習得をめざし、課題について自ら考え、調べることで、受験への対応力を養う。
実験は、教科書のみでなく、資料、参考書も使った十分な考察を求める。

２　学習の到達目標

1.日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高める。
2.目的意識をもって宇宙の誕生と地球の形成や変動についてについて観察、実験などを行い、地学的に探究することができる。
3.地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。また、地球の環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

３　学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：観察・実験の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを表現する。	地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察･実験の記録 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	宇宙における地球	宇宙の構成		○		○	a. 太陽の構造、太陽の活動、太陽のエネルギーについて理解を深める。 b. 恒星の進化の特徴や性質を１等星の名前やその星座と関連付けながら表現している。 c. 宇宙の広がりについて、演示実験等を通して、最近の宇宙論を探求している。 d. 地球と太陽系の他の惑星を比較することにより、地球の特徴を説明することができる。	学習状況 探究活動 ノート･ワークシート 観察･実験 定期考査
		太陽	○			○		
		太陽系の中の地球			○	○		
	活動する地球	地球の姿	○	○			a. 地震火山の発生メカニズムと防災を結び付けようとしている。 b. 地球構成物質の物性と内部構造の解析法を理解している。	
2学期	活動する地球	火山活動と地震	○				a. 地震や火山のような、活動する地球の特徴を理解し、地球上に分布するﾌﾟﾚｰﾄと関連付けて学習する。 b. 地球の表層をつくる火成岩・堆積岩・変成岩について、標本を用いながらそれらの成因や構成する鉱物の特徴などを学習する。 c. 火成岩の岩石ﾌﾟﾚﾊﾟﾗｰﾄ・簡易偏光装置を作成し、火成岩の組織を観察し、理解を深める。	学習状況 探究活動 ノート･ワークシート 観察･実験 定期考査
	移り変わる地球	地層や岩石と地質構造		○	○			
		地球環境と生物界の変遷	○					

※令和３年度以前入学生用

３学期	大気と海洋	地球の熱収支		○			a. オゾン層や電離層などの人間生活に関係深いものや大気に含まれる水の状態変化によって起るさまざまな現象について理解を深める。 b. 太陽からやってくる膨大なエネルギーが、地球上で引き起こす大気の温室効果や大気の大循環などの現象について説明することができる。 c. 日本の天気について、インターネットで入手できる雲の写真や天気図を用いて理解を深める。 d. 地球の気候に大きな影響を及ぼすエルニーニョ現象や気象関係の環境問題についても説明することができる。	学習状況 探究活動 ノート・ワークシート 観察・実験 定期考査
		大気の海洋の運動	○					
	地球の環境	地球環境の科学				○		
		日本の自然環境			○			